

## 【第5章-3】具体的な事象に関する意識と将来展望

### 5-3-1 就職差別に関する現状認識と将来展望

問15 現在、同和地区の人たちは、就職するときに不利になることがあると思いますか。  
(○は1つ)

【表 5-11 同和地区の人たちに対する就職差別の現状認識】

(上段:%,下段:人)

		回答者数	るしばしば不利になることがある	たまに不利になることがある	*しばしばもしくはたまにの区分不明	不利になることはない	わからない	無回答・不明
全 体		100.0 874	10.6 93	22.3 195	7.3 64	10.3 90	33.9 296	15.6 136
性別	男性	100.0 384	12.0 46	26.3 101	6.0 23	12.2 47	29.4 113	14.1 54
	女性	100.0 400	9.5 38	18.3 73	8.0 32	8.8 35	39.8 159	15.8 63
年齢	20歳代	100.0 53	15.1 8	20.8 11	3.8 2	7.5 4	45.3 24	7.5 4
	30歳代	100.0 105	10.5 11	21.9 23	3.8 4	17.1 18	38.1 40	8.6 9
	40歳代	100.0 123	17.9 22	22.8 28	4.9 6	8.1 10	36.6 45	9.8 12
	50歳代	100.0 130	8.5 11	28.5 37	4.6 6	9.2 12	36.9 48	12.3 16
	60歳代	100.0 192	9.9 19	22.4 43	7.3 14	12.5 24	31.8 61	16.1 31
	70歳以上	100.0 178	7.3 13	18.0 32	12.9 23	7.9 14	29.2 52	24.7 44

※「わからない」等と回答しながら、問 15-1 に回答があった場合は、「しばしばもしくはたまにの区分不明」として集計している。

同和地区の人たちは、就職するときに不利になると思うかについてたずねたところ、「しばしば不利になることがある」と回答した割合が 10.6%、「たまに不利になることがある」が 22.3%、「しばしばもしくはたまにの区分不明」が 7.3%であり、これらの合計の割合は 40.3%となっている。一方で、「不利になることはない」は 10.3%、「わからない」は 33.9%となっている。

性別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしばもしくはたまにの区分不明」の合計の割合は、男性 44.3%、女性 35.8%となっている。

年齢別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしばもしくはたまにの区分不明」の合計の割合は、40歳代が 45.5%と最も高く、次いで 50歳代が 41.5%、60歳代が 39.6%となっている。

(問 15 で「現在、同和地区の人たちは、就職するときに不利になることがある」と答えた人に)  
 問 15-1 それは、近い将来、なくすことができますか。(○は1つ)

【表 5-12 就職差別の解決に向けた将来展望】

(上段:%、下段:人)

		回答者数	完全になくせる	かなりなくすことができる	なくすのは難しい	無回答・不明
全 体		100.0 352	8.8 31	54.0 190	36.6 129	0.6 2
性別	男性	100.0 170	10.0 17	55.9 95	34.1 58	- -
	女性	100.0 143	7.0 10	52.4 75	39.9 57	0.7 1
年齢	20歳代	100.0 21	- -	38.1 8	61.9 13	- -
	30歳代	100.0 38	2.6 1	57.9 22	39.5 15	- -
	40歳代	100.0 56	7.1 4	55.4 31	37.5 21	- -
	50歳代	100.0 54	9.3 5	53.7 29	37.0 20	- -
	60歳代	100.0 76	13.2 10	48.7 37	36.8 28	1.3 1
	70歳以上	100.0 68	10.3 7	63.2 43	26.5 18	- -

同和地区の人たちに対する就職差別について、近い将来なくすことができるかについてたずねたところ、「かなりなくすことができる」が 54.0%、「完全になくせる」と回答した割合が 8.8%であり、「なくすのは難しい」と回答した割合は 36.6%となっている。

性別でみると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、男性 65.9%、女性 59.4%となっている。

年齢別でみると、「かなりなくすことができる」「完全になくすことができる」と答えた人の合計の割合は、70歳以上で 73.5%ともっとも高く、次いで 50歳代が 63.0%、40歳代が 62.5%となっている。

5-3-2 結婚差別に関する現状認識と将来展望

問16 現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思いますか。  
(○は1つ)

【表 5-13 同和地区の人たちに対する結婚差別の現状認識】

(上段:%、下段:人)

		回答者数	るしばしば反対されることがある	たまに反対されることがある	*しばしばもしくはたまにの区分不明	反対されることはない	わからない	無回答・不明
全体		100.0 874	20.3 177	27.3 239	5.8 51	3.8 33	25.9 226	16.9 148
性別	男性	100.0 384	20.6 79	31.0 119	4.2 16	5.2 20	24.5 94	14.6 56
	女性	100.0 400	21.0 84	22.8 91	7.5 30	2.8 11	28.3 113	17.8 71
年齢	20歳代	100.0 53	24.5 13	18.9 10	1.9 1	- -	47.2 25	7.5 4
	30歳代	100.0 105	24.8 26	29.5 31	3.8 4	8.6 9	25.7 27	7.6 8
	40歳代	100.0 123	27.6 34	30.1 37	2.4 3	3.3 4	26.0 32	10.6 13
	50歳代	100.0 130	25.4 33	31.5 41	4.6 6	2.3 3	21.5 28	14.6 19
	60歳代	100.0 192	15.1 29	27.1 52	6.3 12	5.7 11	26.6 51	19.3 37
	70歳以上	100.0 178	15.2 27	21.9 39	11.2 20	2.2 4	24.2 43	25.3 45

※「わからない」等と回答しながら、問 16-1 に回答があった場合は、「しばしばもしくはたまにの区分不明」として集計している。

同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがあると思うかについてたずねたところ、「しばしば反対されることがある」と回答した割合が 20.3%、「たまに反対されることがある」が 27.3%、「しばしばもしくはたまにの区分不明」が 5.8%であり、これらの合計の割合は 53.4%となっている。一方で、「反対されることはない」は 3.8%、「わからない」は 25.9%となっている。

性別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしばもしくはたまにの区分不明」の合計の割合は、男性 55.7%、女性 51.3%となっている。

年齢別でみると、「しばしば不利になることがある」「たまに不利になることがある」「しばしばもしくはたまにの区分不明」の合計の割合は、50歳代が 61.5%と最も高く、次いで 40歳代が 60.2%、30歳代が 58.1%となっている。

(問 16 で「現在、同和地区の人たちは、結婚する際に反対されることがある」と答えた人に)  
 問 16-1 それは、近い将来、なくすことができますか。(○は1つ)

【表 5-14 結婚差別の解決に向けた将来展望】

(上段:%、下段:人)

		回答者数	完全に なくせる	かなり なくすこと ができる	なくす のは難 しい	無回 答・不 明
全 体		100.0 467	5.6 26	48.8 228	45.0 210	0.6 3
性 別	男性	100.0 214	6.1 13	50.5 108	43.5 93	- -
	女性	100.0 205	4.4 9	44.4 91	49.8 102	1.5 3
年 齢	20歳代	100.0 24	4.2 1	29.2 7	66.7 16	- -
	30歳代	100.0 61	3.3 2	41.0 25	54.1 33	1.6 1
	40歳代	100.0 74	5.4 4	37.8 28	56.8 42	- -
	50歳代	100.0 80	2.5 2	55.0 44	40.0 32	2.5 2
	60歳代	100.0 93	4.3 4	50.5 47	45.2 42	- -
	70歳以上	100.0 86	10.5 9	55.8 48	33.7 29	- -

同和地区の人たちに対する結婚差別がなくなるかについてたずねたところ、「かなりなくすことができる」が 48.8%、「完全になくせる」と回答した割合が 5.6%あり、「なくすのは難しい」は 45.0%となっている。

性別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、男性 56.5%、女性 48.8%となっている。

年齢別で見ると、「完全になくせる」「かなりなくすことができる」と答えた人の合計の割合は、70歳以上で 66.3%ともっとも高く、次いで 50歳代が 57.5%、60歳代が 54.8%となっている。